

回答例

第3回 GakuNin RDM 機能評価試験アンケート

1. 回答者様の情報

集計（RDM 事務局内利用）のため回答者様の情報をご入力ください。

- ・ご所属：(国立情報学研究所)
- ・お名前：(情報太郎)
- ・利用分野：(研究データ管理)

2. 共同利用者の有無と関係：(□をクリック：複数回答可能)

- 個人利用
 - 研究室内利用
 - 関係者間利用（機関内）
 - 関係者間利用（機関外）
 - その他（企業、NPO 等）
- その他を選択した場合：(NPO,学会事務局)

3. 共同利用者の所在：(□をクリック：複数回答可能)

- 同一建物内
 - 同一キャンパス内
 - 他キャンパス
 - 東日本・西日本をまたぐ利用
 - 海外
 - その他（宇宙、極地、海洋等）
- その他を選択した場合：(自由記載：カーソルをあてて、直接このマスにお書きください。)

4. GakuNin RDM の使用感

4.1 GakuNin RDM のユーザーインターフェイスは使いやすいものでしたか。※□をクリック
選択 5 4 3 2 1 （※5 が一番良い。1 が一番悪い）

4.2 GakuNin RDM のユーザーインターフェイスで使いやすいと感じたのはどのような点ですか。
(ドラッグ・アンド・ドロップでのファイルアップロード)

4.3 GakuNin RDM のユーザーインターフェイスで使いにくいと感じたのはどのような点ですか。
(ディレクトリをまとめてアップロードできなかった。)

4.4 GakuNin RDM の機能のうち便利だと感じた機能は何ですか。
(様々なクラウドストレージが接続できること)

4.5 GakuNin RDM にプラグイン管理機能が追加された場合これを積極的に利用したいと感じますか。
選択 5 4 3 2 1 (□をクリック ※5 が一番良い。1 が一番悪い)

4.6 GakuNin RDM にタイムスタンプ管理機能が追加された場合これを積極的に利用したいと感じますか。
選択 5 4 3 2 1 (□をクリック ※5 が一番良い。1 が一番悪い)

4.7 GakuNin RDM にクラウドストレージ利用統計管理機能が追加された場合これを積極的に利用したいと感じますか。
選択 5 4 3 2 1 (□をクリック ※5 が一番良い。1 が一番悪い)

5. 全体的な質問

5.1 貴機関での研究データ管理を進める上でシステム面以外に必要なことは何でしょうか。
(□をクリック：複数回答可能)

- 研究データ管理を行う為のルールや指針
- 研究データ管理の必要性を理解するツールや講座
- 学内や研究所内における部署ごとの役割分担の整理
- その他 (ストレージを購入するための予算)

5.2 貴機関における研究データ管理について情報基盤センター・図書館・研究推進部門の連携の事例がありましたらご回答ください。
(弊所の事業部では基盤センター、図書館、URA、研究者が一丸となってオープンサイエンス基盤を開発、運用している。)

6. 技術的な質問

6.1 貴機関で GakuNin RDM 導入を検討される場合、対象ユーザの種別・人数や必要なストレージのサイズの見積りについて試算されていたらご回答ください。

(弊所では 500 人の教職員と学生がいる、一人当たり 1TB のストレージを割り当てると、単純計算で 0.5 PB が必要になる。ホットストレージとアーカイブディスクの併用によるコストダウンを計画しているが、具体的なソリューション調達はこれから検討する。)

6.2 貴機関の各部局に GakuNin RDM をご導入いただき、研究者にご活用いただくために必要な機能をお答えください。(例：承認フロー、研究ソフトウェア連携、実験装置連携、電子実験ノートなど)

(弊所では、特許や NDA などによって研究者と関係部門・倫理委員会と承認プロセスを通過させる必要がある、こういったサービスとの連携機能が欲しい。)

6.3 貴機関が現在、研究データや論文原稿などの管理のために利用しているストレージサービス、ツール類がございましたらお答えください。それらに比べて、特に GakuNin RDM に期待する管理上の機能としてお気づきの点がございましたらご回答ください。(例：データ改変を検知する機能(研究証跡機能)、外部ストレージの利用許可/停止などの管理機能、アクティビティの統計機能、など)

(自分の PC および計算機センターのディスク領域を使っている。情報のやり取りはメールです。一箇所で研究証跡を付けた上で管理できると、メール管理の煩雑さから開放されて安心できます。)

6.4 GakuNin RDM 中の研究データを機関リポジトリに登録し永続的に公開する際に、図書館に必要なストレージのサイズの見積りについて試算されていましてらご回答ください。(部局や国際プロジェクトのビッグデータ公開の事例など)

(自由記載：カーソルをあてて、直接このマスにお書きください。)

6.5 GakuNin RDM をご利用いただくに当たって、貴機関が保有する設備、機器などとの連携が必要というようなご要求はあるでしょうか。(例：スーパーコンピュータ、観測・測定装置など)

(データの処理、可視化は計算機センターを使っている。今の GakuNin RDM はデータを自分でコピーする手間が生じて使いにくい。ここを便利に出来れば良い。)

7. ポリシーに関わる質問

7.1 研究データの保護、個人情報の保護などのセキュリティポリシーに関して、GakuNin RDM に特に希望する機能要件がございましたらご記載ください。

(サービスでの研究データや個人情報の暗号化はどういった方式でなされているかが知りたいので詳細仕様が欲しい。)

7.2 貴機関において、データを管理する場合に学部、分野など異なるポリシーを適用する必要があるケースはありますでしょうか。ある場合にはそのケースをご記載ください。

(医学部のみは扱うデータ非常に高い機密性を要するため、他学部と別のポリシーを適用しています。分野単位で個別のデータ管理ポリシーを適用しています。)

7.3 貴機関において、異なるデータ管理ポリシーの適用にあたって、データストレージそのものの分離などを必要とするケースがあればご回答ください。

(医療系学部は高いセキュリティを必要とするため、内部管理のオンプレミス環境にてデータ管理しています。)

7.4 貴機関において既に導入されているストレージサービスについて、ユーザディレクトリに対する管理者によるアクセスやデータ削除(卒業や退職時)に関して、データ管理ポリシーをご教示ください。

(各ユーザのディレクトリへは管理者の接続も原則禁止とし、本人の同意がある場合のみアクセスする。在籍中のユーザディレクトリ以下は総量のみ監視で容量制限を越える場合は本人に依頼。退職時等は半年後に一様に削除。)

7.5 貴機関において構成員に向けて提供されているクラウドストレージ

AWS、Azure、One Drive、box、ownCloud、Nextcloud

その他 (ownCloud ベースに独自開発したオブジェクトストレージを学内向けに提供している。リプレース後は Nextcloud を予定している。)

7.6 クラウドストレージご利用の場合、公開されているクラウド利用のポリシーまたはガイドラインがあれば、概要や URL 等の参考情報をご回答ください。

(弊所ではクラウド利用ポリシーを策定中の段階である。)

8. テスト結果の取り扱いに関する質問

8.1 貴機関が第3回 GakuNin RDM 機能評価試験に参加されたことを、先行事例として他機関に伝えてもよろしいでしょうか。(□をクリック)

はい いいえ

8.2 今後、研究データ管理に関するカンファレンス、シンポジウムで貴機関の取り組みを先進的な事例として、教職員の方にご発表いただくことは可能でしょうか。(例：NII 学術情報基盤オープンフォーラム、Japan Open Science Summit、図書館総合展、大学 ICT 推進協議会年次大会、RA

協議会など) (□をクリックください)

はい いいえ ケースバイケースのためご相談ください。

お手数をお掛けいたしますが、ご回答後 rcos-office@nii.ac.jp までお送りください。

ご協力くださいますとありがとうございます。